

## お茶の水女子大学での一学期

建国大学

キム・ドギョン

学籍番号 K2590062

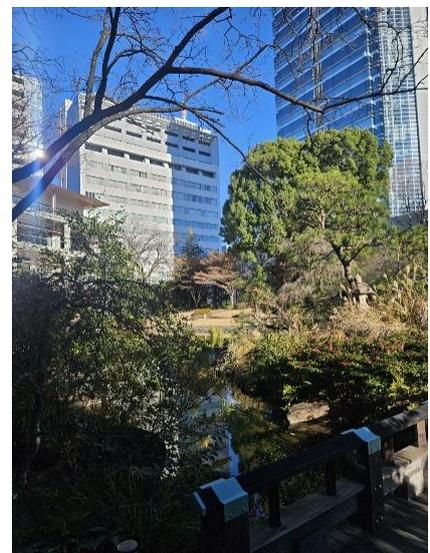
お茶の水女子大学に来る前日まで、海外で生活するということに対して、期待よりも不安のほうが大きい日々を過ごしていました。自分の日本語能力に合った選択だったのか、授業についていけるのかなど、心配なことが多くありました。

しかし、そのような不安が嘘のように、ここでの時間は驚くほどあっという間に過ぎていきました。授業では、自分のレベルに合ったクラスを受講できたことや、さまざまな国から来た友人たちと同じ目標を持って学べたことが、とても良い経験でした。最初は、拙い日本語で文法や単語を間違えたまま話してしまうのではないかと不安に感じていました。

ただ怖がっているだけではなく、毎日日本語を耳にする環境の中で、間違えても正しい表現を丁寧に教えてくださる先生方がいらっしゃり、また他の学生との会話を通して新しい単語や表現を自然に身につけることができました。そのおかげで、日本語に対する緊張や恐れは少しずつなくなっていきました。この場を借りて、留学生の授業を担当してくださった先生方に心より感謝申し上げます。おかげさまで、多くのことを学ぶことができました。

留学生の授業だけでなく、専門の授業からも多くを学びました。文化コンテンツを専攻している私は、ここでも引き続き自分の専門分野を学ぶことができました。授業を通して、日本という国ならではの視点から新たに文化コンテンツについて考えることができ、とても貴重な経験となりました。

日本で生活する中で、大学周辺だけでなく他の地域への旅行や祭り、映画鑑賞などの文化活動を楽しみ、より一層日本の文化や言語に近づけたように感じ、とても嬉しかったです。





期待よりも不安を多く抱えて来た当初とは違い、今は幸せな思い出と名残惜しさを胸に帰ります。一人だったら、決してここまで貴重な経験は得られなかったと思います。最後まで共に過ごした留学生の友人たち、すべての先生方、そしていつも温かく親切に接してくれたチューターに、改めて感謝の気持ちを伝えたいです。あまりにも早く過ぎてしまった、私の人生における最大の挑戦であったお茶の水女子大学での半学期を通して成長した自分とともに、韓国へ帰ることができることを心から嬉しく思います。